SQiP研究会　ユーザビリティ・UX系分科会　活動履歴

分科会名	年	年度	論文タイトル・内容・題材	報告書	プレゼン	特記事項	SQuBOK: ソフトウェア品質の基本概念				組織レベルのソフトウェア品質マネジメント				プロジェクトレベル(共通)のソフトウェア品質マネジメント	プロジェクトレベル(個別)のソフトウェア品質マネジメント				工程に共通なソフトウェア品質	工程に個別なソフトウェア品質技術							専門的品質特性のソフトウェア品質技術		
							1.1.1.9 品質の定義(狩野紀昭)	1.1.4 使用性	1.3.5 V&V(Verification & Validation)	1.3.5.2 妥当性確認(Validation)	2.2.3.3 プロトタイピング	2.2.3.5 アジャイル開発	2.3.2.5 なぜなぜ分析	2.6.2 教育・育成のマネジメント	2.8 意思決定のマネジメント	2.14 要求分析のマネジメント	2.14.2 要求の妥当性確認と評価	2.21.1.8 問題マネジメント	2.22 保守のマネジメント	3.1.2.3 利用時の品質メトリクス	3.5 要求分析の技法	3.5.1 要求抽出	3.5.1.1 ステークホルダー識別	3.5.1.2 要求開発(Ontology)	3.5.2 要求分析	3.8 レビューの技法	3.9.5 利用に基づいた技法	3.10.3.2 ノバク分析	3.13 使用性の技法	3.13.1.1 ユーザビリティテスト	3.13.1.2 インタラクティブシステムの人間中心設計プロセス(ISO 9241-210)
GUI・マルチメディアの品質保証	1999	15	GUI・マルチメディアの品質保証	なし	なし																									
	2000	16	―企業ホームページの業種別コンテンツ分析―	なし	なし	ECSQ2002で発表 (P.53)																								
	2001	17	―ペルソナを使ったユーザビリティテスト―	○	なし			✔																				✔		
ウェブの品質管理 ―ウェブ・ユーザビリティ―	2002	18	ウェブ・ユーザビリティ向上への考察 ―日本語ウェブサイト向けのトップページ・ユーザビリティ・ガイドライン―	○	なし			✔																				✔		
	2003	19	ECサイトにおけるベストプラクティスを探る ―ユーザテスティングとタスク分析による検証―	○	なし	AmazonHacks 和訳		✔																				✔		
	2004	20	Human-centred Design 手法の実践 ―コミュニティサイトへの適用―	○	なし	DESIGN IT! 2005 で発表		✔																						
ソフトウェア ユーザビリティ	2005	21	開発現場におけるUCD アプローチ実践の課題 ―ネットプリントサイト改善のための仮想UCD プロジェクトを通して―	○	なし																	✔			✔	✔			✔		
	2006	22	ターゲットユーザを明確にするためのペルソナ手法の実践と課題抽出 ― コミュニティでのblogサービスの活用検討を通じて ―	○	なし			✔																				✔		
	2007	23	使いやすいUIを設計するためのプロトタイピング手法実践に向けたツボ・勘所 ― フォトブックサービスにおけるプロトタイプ作成と ペルソナ・シナリオに基づくウォークスルーを通して―	○	なし																	✔			✔	✔			✔		
	2008	24	満足度の構造およびその評価手法の提案	○	なし																	✔									
			プロトタイピング手法の効果的な選択方法の提案 -我が社の交通費精算システムは使いやすくなるのか？-	○	なし																	✔			✔	✔			✔		
	2009	25	Light WeightなUCD手法の提案 ScrumにUCD手法は適用できるのか？	○	なし			✔				✔																		
	2010	26	「体験」を伴ったソフトウェア開発における課題 エンジニアのフューチャービジョンとは？	○	○																	✔			✔	✔			✔		
ユーザエクスペリエンス (UX)	2011	27	ユーザエクスペリエンス(UX)手法を用いた企画品質評価の提案（企画バグ）	○	○											✔														
	2012	28	本当に望まれるソフトウェアを開発するためのUXD(User eXperience Design)活用検証 ～もし、現場の開発者が"UX デザインの教科書"を読んだら～	○	○	プレゼン賞													✔	✔								✔		
	2013	29	システム開発における利用者視点欠乏症の簡単自己診断と処方箋一覧 ―"利用者視点欠乏症チェックシート"と"UX ソリューションマップ"の提案―	○	○	プレゼン賞		✔	✔														✔	✔			✔		✔		
	2014	30	ソフトウェア開発における失敗の予兆とUX手法の有効利用 ～ UX手法による身近な炎上防止 ～	○	○					✔	✔												✔						✔		
			UXデザイン手法の効果的展開策 ～「UXサジェスター」の提案　～	○										✔									✔								✔
	2015	31	専門的な装置を制御するソフトウェア向けのシンプルなUX手法の提案	○	○			✔			✔						✔					✔						✔		
			利用状況把握から始めるUX課題分析手法の提案 ― Webシステムの利用品質の向上を目指して ―	○				✔				✔														✔			✔	✔
			行為の7段階モデルを用いたユーザーのつまずき解決手法 - ユーザーがつまずいた原因は本当にそれですか？ -	○	○			✔					✔				✔												✔	✔
	2016	32	ユーザのぼやきから始める使い勝手の問題箇所導出手法の提案	○	○	プレゼン賞		✔										✔	✔	✔								✔		
			開発者が発案したスマートフォン向け新規BtoCサービスに対する価値評価方法の提案 ― ダイヤの原石を見逃さないために ―	○	○		✔			✔	✔			✔														✔		
	2017	33	要求段階で齟齬を減らすための合意形成手法の提案 ～5W1Hを用いた要件定義～	○	○		✔			✔							✔				✔									✔
	2018	34	スマート病院検索、スマート幹事ちゃん、プレゼント推薦サイト&おもちゃECサイト	○	○	付録		✔			✔											✔							✔	
	2019	35	アンケート職人、厚さ測定装置	○	○	付録		✔			✔										✔								✔	
	2020	36	完全オンラインでのUX設計の実現の提案、オンラインUT、Voice UI	○	○			✔			✔										✔								✔	
	2021	37	文献検索、品質ポータル	○	○	付録		✔			✔										✔								✔	
	2022	38	シニアUX ＆ UXポリス	○	○	付録		✔			✔										✔								✔	
	2023	39	タワーパーキング、行田市観光情報サイト、Web Highlighter	○	○	付録		✔			✔										✔						✔		✔	
							2	17	1	3	9	2	1	1	1	1	3	1	1	2	7	7	3	1	4	4	1	2	12	10	4

年	年度	HCD専門家コンピタンス: A. HCD基本コンピタンス													B: プロジェクトマネジメントコンピタンス			C:導入推進コンピタンス				L: テクニカルコミュニケーション能力		
		A1・調査設計能力	A2・ユーザー調査実施能力	A3・定性・定量データの分析能力	A4・現状のモデル化能力	A5・ユーザー体験の構想・提案能力	A6・ユーザー要求仕様作成能力	A7・製品・事業の企画提案力	A8・製品・システム・サービスの要求仕様作成能力	A9・デザイン仕様作成能力	A10・情報構造の設計能力	A11・プロトタイピング能力	A12・ユーザーによる評価実施能力	A13・専門知識に基づく評価実施能力	B1・プロジェクト企画能力	B2・チーム運営能力	B3・プロジェクト調整・推進能力	C1・HCD適用・導入設計能力	C2・教育プログラム開発能力	C3・人材育成能力	C4・手法・方法論開発能力	L1：文書作成能力	L2：コミュニケーション能力	L3：ファシリテーション能力
1999	15													✔										
2000	16													✔										
2001	17			✔									✔											
2002	18													✔										
2003	19			✔	✔								✔	✔				✔			✔			
2004	20						✔		✔	✔		✔						✔						
2005	21				✔					✔	✔	✔	✔	✔										
2006	22	✔	✔	✔	✔																			
2007	23									✔		✔	✔	✔										
2008	24	✔	✔	✔	✔																			
												✔												
2009	25																	✔			✔			
2010	26					✔														✔		✔		
2011	27							✔										✔						
2012	28	✔	✔			✔												✔						
2013	29				✔					✔		✔						✔						
2014	30				✔													✔						
2015	31		✔									✔						✔						
						✔							✔											
			✔																					
2016	32			✔										✔										
							✔					✔			✔									
2017	33					✔	✔		✔												✔		✔	✔
2018	34		✔			✔		✔				✔	✔			✔						✔	✔	✔
2019	35		✔		✔	✔				✔		✔	✔											
2020	36					✔				✔		✔	✔								✔	✔	✔	✔
2021	37					✔					✔	✔	✔									✔	✔	✔
2022	38					✔						✔	✔			✔		✔				✔	✔	✔
2023	39		✔	✔	✔	✔			✔	✔		✔	✔									✔	✔	✔
		3	8	6	8	9	3	3	3	7	2	13	11	7	1	2	0	9	0	2	3	7	6	7
			83												3			14				20		
			6.384615385												1			3.5				1		